

同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和三年（2021 年）度には、橋本が化学科長および化学専攻長を務め、学科委員の藤井朱鳥教授とともに化学教室および化学専攻の運営に当たりました。

同年 10 月 1 日には、放射化学研究室の木野康志准教授が教授に昇進され、引き続き同研究室を主宰することになりました。また、同日、錯体化学研究室に坂本良太教授が着任され、無機・分析系 5 研究室が揃うことになりました。その他にも多くの方が着任、異動されました。同年度に採用、昇任、異動、退職された方々は以下の通りです。

教授	木野 康志	令和3年10月1日付昇任（放射化学）
教授	坂本 良太	令和3年10月1日付採用（錯体化学）
講師	小室 貴士	令和 3 年 4 月 1 日付昇任（無機化学）
講師	福山 真央	令和 3 年 9 月 1 日付昇任（ナノ・マイクロ計測化学）
助教	志賀 大亮	令和 3 年 4 月 1 日付採用（ナノ機能物性化学）
助教	芳野 遼	令和 3 年 10 月 1 日付採用（錯体物性化学）
准教授	谷口 耕治	令和 4 年 3 月 31 日付退職 <東工大へ>
講師	奥西 みさき	令和 3 年 10 月 31 日付退職
助教	Das Saikat	令和 3 年 4 月 30 日付退職 <米国の大学へ>
助教	塩見 慎也	令和 3 年 5 月 31 日付退職 <千葉大学 特任助教に就任>
助教	葛 愛民	令和 3 年 12 月 10 日付退職 <中国南開大学 准教授に就任>
助教	的場 博亮	令和 3 年 12 月 31 日付退職 <九州大学大学院薬学研究院へ>
助教	菊池 隼	令和 3 年 12 月 31 日付退職 <東北大学薬学研究科 助教に就任>
助教	井口 弘章	令和 4 年 2 月 28 日付退職 <名古屋大学大学院工学研究科へ>
助教	Shen Yongbing	令和 4 年 3 月 31 日付退職
助教	XING Junfei	令和 4 年 3 月 31 日付退職
助教	小井川 浩之	令和 4 年 3 月 31 日付退職

令和三年度も、新型コロナウイルス感染症の猛威は収まらず、その影響を大きく受ける我慢の一年となりました。日常的に「マスク」を付けることが当たり前となり、引き続き多くの行動制限が掛かる中、昨年度立ち上がった理学の『新型コロナウイルス対策本部』の行動指針に従い、化学科および化学専攻の全員がこの状況に対応すべく行動してきました。講義のほとんどは、オンライン講義あるいはオンラインと対面のハイブリッド講義となり、「google classroom」や「ISTU」等のオンラインツールを使って出席や宿題の確認をする体制に移行しました。専攻内の会議の多くがオンライン会議となりました。これまで行われてきた入学式や卒業式はもとより、化学科の伝統行事である新入生歓迎スポーツ大会、野副野球大会、一般雑談会、化学科送別会は、今年度も断念せざるを得ませんでした。オープンキャンパスは動画等の形で受験生の皆様へ配信しました。このような中でも、新1年生への入学ガイダンスや学部学生へのガイダンス、および博士や修士などの学位審査会、卒論発表会、平間賞受賞式は、感染対策の下、大講義室にて対面で行うことができました。また、1年遅れとはなりましたが、3月末には山下正廣教授の最終講義の会を持つことができました。

本年度に化学教室名誉教授の平間正博先生が春の叙勲で「瑞宝中綬章」を受賞されましたことは、明るいニュースの一つとなりました。平間先生の功績に心よりお祝い申し上げます。

また、令和3年9月に、東北大学がJST事業「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択されたことを受け、博士後期課程学生に経済的支援（学振特別研究員に匹敵する支援）をすることが出来るようになりました。また、年度末には、大学院プログラムの「統合化学国際共同大学院」（GP-Chem）（代表：林 雄二郎教授）の設置が承認されました。これにより、次年度から博士課程前期2年生以上の学生への経済的支援も可能となりました。「東北大学グローバル萩奨学生」も含めると、大学院博士後期課程の学生への経済支援が充実してきています。

専攻長秘書の大内典子さんには、当初1名体制で化学専攻内の全ての仕事をこなして頂き、年度末に高岡朋子さんに加わって頂きました。教務企画（化学担当）の加藤 真実さんおよび齋藤千春さんには教務関係の全てを支援して頂きました。これらの方々の献身的なサポートにより1年間の化学教室の運営を終えることができました。

以上、令和三年度における化学教室の概況をご報告申し上げます。今後も化学教室の発展に向け、構成員一丸となって邁進していく所存ですので、引き続き同窓会の皆様のご協力とご支援を賜りますと幸いに存じます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

令和5年5月25日